

中学校における ESD（持続発展教育）が
生徒の自尊感情に与える影響についての実証的研究

専攻 人間教育専攻
コース 人間形成コース
名前 横嶋 敬行

指導教員 伴 恒信

1. 問題の所在

「自分で自分を大切にすること」「自分に自信を持つこと」、それは生きる力と強く結びつく重要な価値観である。学校教育においても、「自尊感情を育む」という教育目標となって広く教育のなかに浸透している。

本研究の研究協力校である静岡県の A 中学校でも、自尊感情を高めるための教育実践に力を入れている。A 中学校では、例年「自分に自信が持てない生徒が多い」ことが課題としてあげられてきた。そこで A 中学校は、「持続可能な社会をつくる」というキーワードのもとで保護者や地域、その他関連団体が連携し、地域に根差した学習に取り組む持続発展教育（ESD：Education for Sustainable Development）に取り組んだ。ESD の視点から総合学習を組み、学校教育のなかにより広い人間関係やつながりを生み出すことで、自尊感情を養うための豊かな人間形成の場をつくりだそうとしたのである。

A 中学校は「地域での体験や地域の人の“つながり”」のなかで、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する力を養うことで、

地域への誇りをもたせ、生徒の自尊感情を高めることで生きる力を育てる」という教育目標（仮説）のもとで ESD に取り組んでいる。その一連の ESD の教育実践が高い評価を受け、平成 22 年度 10 月 30 日のユネスコスクール全国大会の第一回持続発展教育大賞（ESD 大賞）において中学校賞を受賞した。現在では、生徒の自尊感情の現状の調査をはじめ、実践全体の教育評価をおこなわなければならない段階を迎えている。

2. 研究の目的

本研究では、A 中学校の生徒の自尊感情の現状を明らかにするとともに、A 中学校が ESD のなかで重視している「人や地域とのつながり」と自尊感情との関連のメカニズムを探ることで、ESD が自尊感情におよぼす影響を「人や地域とのつながり」の側面から明らかにすることを目的としている。同時に、学校教育における ESD の価値や意義についての探求を行うことを研究の目標としている。

3. 研究方法

質問紙調査：A 中学校を含む 4 つの中学校を対象に意識調査を行った（2012 年 3 月

実施)。調査対象生徒数 657 名、回答数 628 名（回収率 99.3%）。

参与観察：A 中学校の ESD の実践のひとつである一年生の宿泊体験学習に参加した（2011 年 10 月実施）。

インタビュー調査：A 中学校の三年生の生徒 11 名（男子 7 名、女子 4 名）にグループインタビューを行った（2012 年 3 月実施）。

4. 研究の結果

(1) 質問紙調査

自尊感情の現状に関しては、t 検定によって A 中学校と他の学校の平均値の差を比較したところ、A 中学校の自尊感情得点が有意に高かった。「人や地域とのつながり」と自尊感情との関連に関しては、重回帰分析の結果、「人や地域とのつながり」に関する因子である「身近な人からの賞賛」因子と「地域への誇りや愛着」因子から自尊感情への有意な正の影響が確認された。また、重回帰分析の結果を A～D 中学校間で比較したところ、「地域への誇りや愛着」因子から自尊感情への影響が確認されたのは A 中学校のみであった。

(2) 参与観察

自然学習では、地域の環境問題について真剣に学習に取り組む生徒の様子や、雄大な自然の景色を目の当たりにして感嘆する生徒の姿が観察された。また、五感を使って自然を感じるゲームや学習を通じて、自分たちの住む地域の自然の素晴らしさを実

感している生徒の様子が観察された。

(3) インタビュー調査

三年間の ESD を通じて地域への誇りや愛着を感じていること、また、その取り組みを自分の夢や将来像と結びつけることで自信を持ったことなどを聞くことができた。

以上の結果から、A 中学校の教育目標（仮説）における「地域への誇りや愛着（郷土愛）を育むことで、自尊感情を高める」は一部採択されたという。「地域を持続可能な社会にする」という目的で学習を展開することで地域社会に対する所属感や帰属意識が高められていると考えられる。そのような、地域社会に対する所属感や帰属意識が「地域への誇りや愛着」と自尊感情を関連付けているのではないかと推測された。また、自分の手で自分の住む地域を作り上げていくという ESD の学習は、自己に対する有用感も育んでいると考えられる。

5. 今後の課題

A 中学校で地域への誇りや愛着が自尊感情への影響要因となった背景には、今回考察したもの以外にも様々な要因が考えられる。科学的な根拠に基づいてそれらの要因を明らかにしていくことで、教育の目標やねらいを焦点化し、より効果的に郷土愛の育成を通して生徒の自尊感情を高めることが可能となると考えられる。